

テーマ別パスファインダー



日本語を教える

(実践編)



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder (パスファインダー) とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2014年8月8日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングcommons るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ 日本語を教える とは？

「日本語を教える」とは、主に、日本語非母語話者に対する日本語教授についての研究である「日本語教育学」を基本としています。日本語教育学では、日本語教育文法、教授法、シラバス／カリキュラムデザイン、言語政策といった幅広い研究が行われています。このパスファインダーでは「日本語を教える（基礎知識編）」の続編として、「実践編」と称し、実際に日本語を教える際に必要となる知識やアイデアを扱った図書を紹介します。

関係分野：日本語学、教育学、言語学、第二言語教育、第二言語習得研究、社会言語学、音声学[他]

II. 日本語教師必携！

＜ 国際交流基金『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』全14巻 ひつじ書房

日本語教育の中核である独立行政法人「国際交流基金」による、教師向け教科書です。「コースデザイン」から「評価」「教材開発」に至るまで、各巻に分かりやすく書かれています。知識を身に付けるだけでなく、教え方について自ら考える姿勢を身につけることを目的としており、教師のセルフトレーニングとしても活用できるでしょう。【外国図-4 階開架 810.7||433】

＜ ①庵功雄[ほか] (2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

＜ ②庵功雄[ほか] (2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク

日本語教育という立場から日本語文法がまとめられており、授業準備の時や教え方に迷った時、拠り所となる二冊です。コミュニケーション中心、機能中心といった教育に注目が集まっても、授業で文法を全く教えないというわけにはいきません。日本語を教えるのはまだ先、という人も、これを読んで頭を整理しておくことで、日本語教師としての基礎作りともなりそうです。

【①外国図-4 階開架 815||402||初級 ②外国図1 階書庫一般 815||402||中上級】

＜ グループ・ジャマシイ編著(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版

日本語教育で扱われる文型が場面や文脈の中でどのように使われているか、調べることのできる辞典です。それぞれの文型にどのような使われ方があり、どんな場合に使われるのかの解説、さらに例文も豊富なため、「この文型、どんな時に使うっけ」と思ったらとにかくこの辞典で調べてみることをお勧めします。

【外国図1 階書庫一般 815||369】

III. アクティビティを充実させる

◀ 砂川有里子 [監修] (2008) 『おたすけタスク：初級日本語クラスのための文型別タスク集』くろしお出版

文型導入をした後、どんな練習をすればいいのかわからない…そんな時にはこの一冊。初級から使えるタスクのアイデアが文型別に詰まっています。コピーしてそのまま使える絵カードもついています。自分の教室に合わせて手作りするのも良いでしょう。【総合図-A棟3階 留学生用図書 810.7||ISH】

◀ 国際交流基金 (2006) 『日本語教師必携 すぐに使える「レアリア・生教材」アイデア帖』スリーエーネットワーク

本物の広告やメニュー、チケットなどを授業で使うとき、それらを「レアリア」「生教材」と呼びます。この本では、どんな物がどのように使えるのか、具体的な例が掲載されています。ここに書かれている以外にもどんどんアイデアが広がるかもしれません。この本を参考にして、身近にある何でもない物を教室で宝石のように輝かせましょう。【外国図-4階開架 810.7||445】

◀ みんなの教材サイト

<http://minnanokyozai.jp/kyozai/home/ja/render.do> (URL 確認：2014/7/25)

日本語教師の教材作りの手助けを目的に、国際交流基金日本語国際センターが作成した登録制のウェブサイトです。登録しログインすると、世界中の日本語教師の授業アイデアを閲覧したり、自分のアイデアを投稿したりできます。教材として使えるイラストや写真なども配布されています。

IV. 授業を進化（深化）させるために

◀ 池田玲子, 舘岡洋子 (2007) 『ピア・ラーニング入門：創造的な学びのデザインのために』ひつじ書房

教師主導型の教育から学習者中心の教育への転換の中で注目されてきた、「対話を通して学習者同士が協力し、学ぶ学習方法」であるピア・ラーニング。その理論的背景と、作文および読解の授業でのピア・ラーニングの実践例が紹介されています。この本から得たアイデアを教室でどのように活かすかは、あなた次第です。【外国図-4階開架 810.7||505】

◀ 野呂博子 [ほか] (2012) 『ドラマチック日本語コミュニケーション：「演劇で学ぶ日本語」リソースブック』ココ出版

意味あるコミュニケーションを作りあげるのに適した「演劇」の日本語教育への取り入れについて、理論面と実践面から書かれた一冊。明日から使える教室活動のリソースや、日本語学習者のために書かれた演劇のシナリオも収録されています。【外国図1階書庫一般 817||271】

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。